

町民の地震発生時の心得

〇月〇〇日(〇)
〇〇〇〇町防災会

一、平時の備え

1、災害用品の備え＝非常持出袋を常時備えておきましょう。

1)非常食料品＝最低必要品は3日分を備蓄しておきましょう。

①カンパン、アルファ米、缶ずめ、飲料水

2)防災用品＝最低必要品は3日分を備蓄しておきましょう。

①ラジオ、懐中電灯、救急薬品、タオル、軍手、生理用品＝最低必要品

2、耐震対策

1)家具の固定＝家具、食器棚、水屋、照明器具等の耐震対策を行っておきます。

二、発生時の心得

1、地震発生 0分～2分間の行動＝命を守る時間帯です。

1)テーブルの下にもぐるなど、落下物から頭を守る。

2)布団、座布団等で、落下物から頭を守る。

2、地震発生 2分～5分間の行動＝火の始末、出口確保を行います。

1)火の始末、出火していたら消火、余震に備えて、出口確保。

2)ガスの元栓を閉める。ブレーカーを切る

3)スリッパ、靴、軍手等で、ガラスの飛散から足、手を守る。

3、地震発生直後 5分間～10分間の行動＝我が家の安全確認

1)家族の安否確認、家屋の被害状況、ラジオで情報収集を行います。

5、地震発生直後 10分間～15分間の行動＝余震に備え避難行動

1)家族のみなさんで、組の集合場所に集まる。

2)家族の安否確認、家屋の被害状況を確認後組長に報告する。

3)ガス栓の断、ブレーカーの断を確認後組長に報告する。

4)ペット類は極力、避難所には連れてこない様します。

5)防災会役員はそれぞれの任務に就きます。